

第4回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップを開催しました

2022年12月6日（火）19:00から、メディア交流館にて「第4回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップ」を開催しました。前回の第3回WSで市民の皆さんが考えた「10年後の荒尾駅周辺地区のまちづくりのコンセプト」（にぎわいと魅力で溢れ、多様な人々が自由に便利な使い方ができる荒尾駅周辺地区）をもとに、そのコンセプトを『実現するためのまちづくりイメージの具体化』を行いました。

1. 当日の進め方

① 前回WSの振り返り



② コンセプト実現のためのまちづくりイメージの具体化



③ グループごとに発表



2. グループワークでの意見のまとめ

荒尾駅停車場線について

【人中心の空間の創出】

- 歩道を拡幅し、飲食ができる空間等を創出
- 市民の手作りしたベンチの設置
- 歩行者天国の実施

【沿道の利活用】

- 空き店舗の活用
- 店同士で連携できる仕組み

【シンボルロード】

- 通りを明るくするための照明の設置
- 植栽の統一
- 歴史を学べる案内看板の設置

【あらか海陽スマートタウンとの連携】

- 連携した空間の創出
- あらか海陽スマートタウンと差別化する

プロログ広場について

【利活用しやすい空間づくり】

- 日よけ用の屋根の整備
⇒くつろげるスペースの創出のため
⇒広場を使いやすくするため

【機能の充実】

- カフェや健康遊具の整備

【やりたいこと】

- ヨガ教室の開催
- 荒尾市内のお店を応援できるイベントの実施
- 子どもが描いた絵を展示
⇒目的地としてくる人増加させるため

駅前広場について

【スムーズな駅前広場】

- 送迎のための一般車で混雑するので、乗車・降車の場所を分ける
- 広場内の円滑性を向上させる
- 大型バスが利用可能なスペースの確保
- JRとバスの時刻を連携 ● 利用者の安全性を確保

【利活用】

- コンサートなどのイベントの実施

【機能の充実】

- 案内の充実（観光案内所の設置、情報発信、最新版の駅周辺MAPの作成）
- 待合室を広げる ● 学習できるスペースを設置
- 自転車やバイクの導入

駅舎について

【東側からのアクセス】

- 東側からの利用者を考慮した東口の整備
⇒HOTEL AZに向かう人も考慮する
- 東西の自転車の行き来を可能とする
- 東西をつなぐ自由通路の整備
- 東口駅前広場の整備

【バリアフリー】

- エレベーター、エスカレーターの整備
- バリアフリーな自由通路を整備
- 傾斜の緩い階段に改築

- 売店の整備
- 待ち時間の際の利用や駅利用者以外も集まるために飲食店（立ち飲み屋、学生が手軽に食べれるものなど）の整備
- 展示スペースの整備（子どもたちのスペース）

3. 第5回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップについて

次回のワークショップ（2023年2月ごろ）では、これまでのワークショップで得られた市民の皆さんの意見をまとめた「具体的なまちづくりイメージのとりまとめ」について市民の方々に共有し、確認していただく予定です。

第1回WS（2021年12月）

★現状把握

内容：荒尾駅周辺地区の良いところ、悪いところの整理

第2回WS（2022年2月）

★ニーズ把握

内容：荒尾駅周辺地区に欲しい機能、施設の整理

第3回WS（前回）

★コンセプトづくり

内容：10年後の荒尾駅周辺地区の姿の検討

第4回WS（今回）

★イメージの具体化

内容：10年後の荒尾駅周辺地区の姿の実現のためのイメージの具体化

第5回WS（次回）

★方向性・イメージの共有・確認

内容：10年後の荒尾駅周辺地区の姿の実現のための詳細な計画づくり